

6: 産業支援

「陸前高田産業支援デスク」の設置

「陸前高田産業支援デスク」を設置し、陸前高田産品についての商談会を通じて販路開拓をはかるなど、陸前高田市の産業復興を支援しています。

- 名古屋市や陸前高田市で開催されるイベントへの出展
名古屋まつりなど本市で開催されるイベントに出展し、陸前高田産品のPRや販路拡大に協力するとともに、陸前高田市で開催された「産業まつり」に出展しています。

- 専門家の派遣

デザイナーや公認会計士を陸前高田市へ派遣し、企業の商品開発力及び経営力、経営基盤の強化を支援しています。

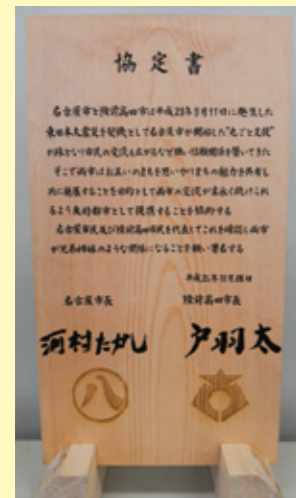


陸前高田市の企業に派遣した専門家による経営相談の様子

東北の産品を購入していただくことも支援につながりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

友好都市の協定

陸前高田市と国内初となる友好都市の協定を締結



陸前高田市への行政機能の“丸ごと支援”をきっかけに広がった両市の交流が末永く続けられるよう、平成26年10月28日、友好都市の協定を締結しました。
陸前高田市と文化や観光、産業など様々な分野で末永く交流を続けていきます。

◀ 被災した陸前高田市の
高田松原の松で作った協定書



友好都市の協定締結式

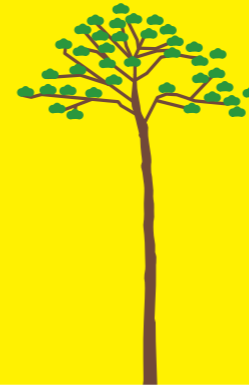
陸前高田市では未だに多くの方が仮設住宅での避難生活を余儀なくされています。名古屋市は被災地の一日も早い復興を願いつつ、これからも積極的に被災地支援の取組みを進めてまいります。また、被災地支援で得られた経験について、本市の震災対策に反映し、防災力向上につなげてまいります。今後とも市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

名古屋市の取り組みや、派遣職員が行っている活動については
名古屋市の公式ウェブサイト <http://www.city.nagoya.jp/> でご覧いただけます。

お問合せ先 名古屋市被災地域支援本部事務局
TEL:052-972-3585 FAX:052-962-4030

応援します!! 東北! 陸前高田市!

～行政丸ごと支援～ ～市民交流～



1: 陸前高田市を行政支援することとなった経緯

- 平成23年
- 3月11日 東日本大震災発生
(震源地:三陸沖 規模:マグニチュード9.0)
 - 3月16日 「名古屋市被災地域支援本部」の設置
 - 3月19日～31日
先遣隊を岩手県沿岸部に3回にわたり派遣
 - 4月1日 副市長をトップとする調査チームを陸前高田市に派遣
 1. 市街地は壊滅的な状況
 2. 100名を超える市職員が死亡、行方不明
 3. 市役所の行政機能がマヒ状態
 4. 岩手県及び陸前高田市から強く支援を要請
 - 4月7日 陸前高田市を全面支援することを決定



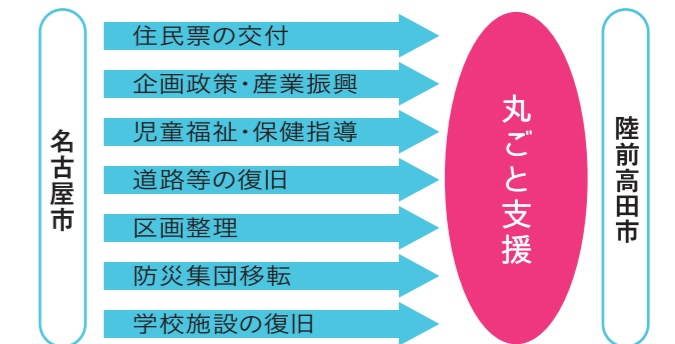
陸前高田市街地



旧陸前高田市役所庁舎

2: 名古屋市の支援の特徴

- 甚大な被害を受けた陸前高田市の行政全般を、名古屋市の持つ総合力によって“丸ごと支援”する【全国初の取り組み】です。
- 被災地の復旧・復興の状況に併せて刻々と変化する被災地からのニーズに対応して、業務に精通した職員を派遣しています。



平成23年度 住民票の交付、保健指導、り災家屋の調査、ゴミの収集、災害対策本部の運営、震災復興計画の策定など行政分野全般

平成24年度
25年度
26年度
27年度 区画整理、防災集団移転、道路等の復旧、学校施設の復旧など、新たなまちづくりに向けた行政分野



防災集団移転による高台の宅地整備

3: 職員派遣

平成23年度から平成27年度までに、陸前高田市へ延べ192名の職員を派遣

＜平成23年度＞ 陸前高田市へ33ポスト、延べ144名派遣



震災直後の陸前高田市役所仮庁舎
(コンテナハウスを利用)



被災した旧市役所で書類を探す職員



被災した書類の再生を行う職員

＜平成24年度＞ 陸前高田市へ16名派遣

＜平成25年度＞ 陸前高田市へ13名派遣

＜平成26年度＞ 陸前高田市へ11名派遣

＜平成27年度＞ 陸前高田市へ8名派遣



土地区画整理業務に従事する職員



道路等復旧業務に従事する技師



産業労働事務に従事する職員

《震災前と現在の陸前高田市街地》



震災前の市街地



かさ上げが進む市街地



学校の校庭に建つ仮設住宅

※派遣職員数については、短期派遣も含む。
※岩手県、岩手県宮古市、宮城県気仙沼市等にも職員を派遣し、復興支援にあたっています。

4: 医療支援

名古屋市立大学看護学部陸前高田市枠の設置

医療機関も壊滅的な被害を受けた陸前高田市の地域医療を支援するため、名古屋市立大学看護学部陸前高田市枠を設置し、看護の中核的な人材の育成を図っていきます。

●期間：平成25年度～平成29年度の5年間

●定員：毎年2名

●概要：陸前高田市にお住まいの方(高校生)で、名古屋市立大学看護学部卒業後、陸前高田市の医療機関等に就職して地域看護の中核的な役割を担っていただきます。



被災して、仮設診療所で診療している
岩手県立高田病院

5: 子ども達の交流

「陸前高田市の子ども達を名古屋市へ招待するプロジェクト」

●陸前高田市への行政丸ごと支援がきっかけで、子ども達が不自由な環境で学校生活を送っており、更に修学旅行にも行けない事が判明。「陸前高田市の子ども達を名古屋市へ招待するプロジェクト」を実施しました。

●陸前高田市の中学生を名古屋市に2泊3日で招待しました。この事業は、全て名古屋市民や企業、陸前高田市を応援する方々からの寄附金やご協力により実現することができました。(本事業は、平成24年度で終了)



被災した旧小友中学校

《陸前高田市中学生による名古屋学習旅行》



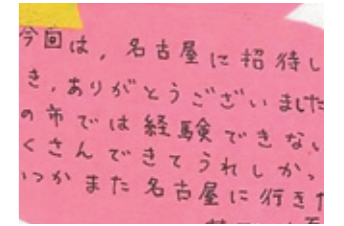
名古屋城見学



就労体験



名古屋めし初体験



中学生からのメッセージ

「陸前高田市の子ども達を名古屋市へ招待するプロジェクト」記念銘板を設置

ご協力いただいた市民や企業の皆様に感謝の意を表すと共に、本市と陸前高田市の子ども達の末永い交流を願い、子ども達の交流が始まった場所である名古屋城に記念銘板を設置。

＜招待実績＞ 平成23年度 4校 280名 / 平成24年度 3校 140名

＜寄附金＞ 687件 32,176,920円

記念銘板除幕式
(平成25年8月3日実施)



名古屋市教育委員会・陸前高田市教育委員会が「絆協定」を締結

子ども達の交流を末長く続けるため、両市教育委員会は「絆協定」を締結しました。この協定に基づき、名古屋市中学生も陸前高田市を訪問するなど、双方向の子ども達の交流が始まっています。



絆協定書

《名古屋市の中学生が陸前高田市を訪問》



中学生同士の交流



仮設住宅でのボランティア活動

《陸前高田市の中学生が名古屋市を訪問》



中学生同士の交流



職場体験(名古屋市立大学病院看護部)